

第5回「台北防衛対話（TDT）」

台湾国防安全研究院*との交流



*台湾国防安全研究院は、台湾国防部が設立した財団法人で、戦略環境の変化および国防改革の必要性から、国防や国家安全保障の分野の専門的で深い知識を持つ、学者・専門家、軍人の退職者や関連の政府機関の代表が研究員となっている。

換言すると、国家安全保障に影響を与える一層複雑化する伝

統的および非伝統的な安全保障問題に対応するため設立された民間のシンクタンクで、関係省庁、国内外の学界、シンクタンク等との双方向の交流・対話を通じて、研究成果や提言を発展させ、政府省庁や民間セクターの参考に提供することが期待されている。

同研究所の研究分野は、国家安全保障戦略、内外の安全保障環境、地域安全保障、戦争法と国際法、非伝統的安全保障の脅威、戦争以外の軍事作戦、災害予防と救援、動員と緊急対応、国際人道救援などをカバーしている。

<趣旨> 台北防衛対話（Taipei Defense Talk：TDT）は、日本と台湾の安全保障・防衛協力の強化を目的に、日本安全保障戦略研究所（SSRI）と台湾国防安全研究院（INDSR：日本の防衛研究所に相当）国家安全研究所との間で定期的に意見交換を行う場として設けられた。

1 会議の概要



第5回 TDT は、台湾国防安全研究院の会議室で行われ、「台湾危機における日台間の軍事的な共有」とし、双方の側からの発表と、それに続いて活発な意見交換を行った。また、今年になって台湾が潜水艦を開発進水されたことから、潜水艦の運用問題について議論が弾んだことも付記しておきたい。

両研究所は、第5回 TDT を2023年12月15日（金）14:00～17:30に開催した。その概要は以下の通りである。

日時	2023年12月15日（金）	
場所	台湾国防院会議室	
テーマ	台海危機の日台軍事共有 ◎台湾海峡トラブルが発生した場合の日本の対応 ①グレーゾーン（の戦争）期間における台湾在住日本人の避難行動計画及び台湾と日本の協力の可能性、自衛隊・防衛出動の条件 ②日本は中国が台湾の離島（金門島、馬祖島、東沙島）を攻撃する可能性を評価するだろうか？そして日本側の考えられる行動、自衛隊・防衛出動の条件 ③中国の台湾本島攻撃、水陸両用上陸作戦発生時の日本の可能な行動、自衛隊・防衛出動の条件	
言語	母国語（双方の研究員による通訳）	
区分	SSRI 側	INDSR 側
発表者	小川清史 上席研究員 矢野一樹 上席研究員 小野田治 上席研究員	國防安全研究院代理副執行長暨國安所所長 沈明室 國防院國防戰略與資源研究所助理研究員 江炘杓 國防院中共政軍與作戰概念研究所副研究員 舒孝煌
参加者	高井晉 理事長 小川清史 上席研究員 矢野一樹 上席研究員 小野田治 上席研究員 岩本由起子 研究員 邱伯浩 研究員 門間理良（元防衛研究所地域研究部長 拓殖大）	國防安全研究院執行長 陳明祺 國防安全研究院代理副執行長暨國安所所長 沈明室 國防院國防戰略與資源研究所助理研究員 江炘杓 國防院中共政軍與作戰概念研究所副研究員 舒孝煌 國防安全研究院 副研究員 王彥麟 國防安全研究院 副研究員 王尊彥

2 交流場面：発表と意見交換



